

平成 23 年 3 月 30 日

JMRC 北海道所属各位

東日本大震災の被災者への支援策について

JMRC 北海道

運営委員長 中田省吾

## 1. 活動概要

このたびの東北関東大震災において被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復興がなされることをお祈り申し上げます。

全国を活動のフィールドとしている自動車競技にかかわる当事者としての我々 JMRC 北海道が『今、何ができるか』を検討します。

## 2. 検討内容

- ① JMRC 北海道運営委員会内に副運営委員長を代表とする「被災者支援委員会」を設置する。
- ② JMRC 北海道から 3 万円の義援金送付
- ③ JMRC 北海道シリーズ競技会などでの募金活動
- ④ 被災者への物資提供

## 3. 上記「2. 検討内容」を実現するための具体的活動内容

①の「被災者支援委員会」は復興には長期間の取り組みが不可欠との考えから、JMRC 北海道としての取り組みを広く周知し、会員からの意見を集約するために設置する。

②の JMRC 北海道から 3 万円の義援金送付は 3 月 26 日に行われた 2011 年第 2 回運営員会で出席委員満場一致の上可決されています。速やかに「JMRC 北海道」名での義援金送付が行われます。(事務局より後日 HP へ事実関係をアップ)

③に関して、今年度中のすべての JMRC 北海道シリーズ競技会において、主催者の方にご協力をいただき募金箱の設置・集計・送金をしていただく。

なお、無用の混乱や過度な負担を避けるために募金箱の設置・集計・送金の各方法について各競技会において統一することとする。

今年度の全シリーズ競技会終了後 JMRC 北海道としての募金活動を集計し適当な時期において（年間表彰式を予定）会員各位にお知らせする。

④に関して、各被災地・被災者へは様々な物資の提供が行われている報道がありますので、ニーズが掴めない現状において物資の提供は慎むべきと考えます。

ただし今後においては、被災された当該地域の競技主催クラブが活動を再開できる段階になった際には、JMRC 北海道らしさを持った具体的行動をとるべきと考えます。

#### 4. 募金活動の統一要領

募金を行うにあたり下記要領を厳守していただく。

##### I. 募金箱(設置等)

1. 募金箱には無色透明な2リットルの飲料用ペットボトルを使用する。
2. 飲料水のラベルをはがしたうえで上部に投入口設け、別紙①を印刷し貼り付け募金箱とする。
3. 競技会受け付け開始前に看板（別紙②）とともに設置し設置場所をアナウンスする。
4. ブリーフィングにおいて競技長、JMRC 派遣審査委員により募金活動についてエントラントに協力を依頼し、表彰式においても協力への謝辞を伝える。

##### II. 集計

1. 各競技会終了後主催者競技長と JMRC 派遣審査委員による集計を行う。

##### III. 送金

1. 主催者において送金手続きをおこなっていただく。
2. 送金先は郵便局で行うと、振込手数料が免除されている日本赤十字社がもともと負担が少ないと思われるため統一する。
3. 振込依頼人欄には『JMRC 北海道〇〇〇〇』（〇〇〇〇はクラブ名）とする。
4. 後日窓口で受け取った半券（受領書）を JMRC 北海道事務局へ提出していただく。  
（HP アップするための集計に使用します、コピー可）
5. 以下は日本赤十字社の HP より抜粋

##### **義援金窓口1**

##### **■ 通常払込み(ゆうちょ銀行・郵便局)**

口座記号番号 00140-8-507

口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金

※ゆうちょ銀行・郵便局の貯金窓口において、通常払込みをされた場合、料金は免除されます。

※窓口でお受取りいただきました半券(受領証)は、免税証明としてご利用いただけますので、大切に保管してください。

※ご依頼人欄にお名前、ご住所、お電話番号を記載してください。

#### IV. 留意点

1. 別紙①および別紙②は必要に応じて拡大・縮小して使用してください。
2. 現時点において日本赤十字の口座開設時期は23.9.30までとなっていますので今後変更の際は改めて各主催者に通知する。
3. 各主催者においては、募金箱の設置に関し盗難などに注意していただく。
4. JMRC 北海道として今年度全シリーズ戦競技終了まで続ける活動のため、各競技会においてバラバラな対応を行うと募金活動に支障が出るのが予想されます、趣旨をご理解していただきご協力をお願いします。
5. 問い合わせ連絡先

被災者支援委員会 委員長 西野義人 (JMRC 北海道副運営委員長・室蘭支部長)

<mailto:d-chairman@jmrc-hokkaido.org>

携帯：090-7652-0422

#### 5. その他

今震災のように甚大な被害への支援はこれから長期間の取り組みが必要となります。オーガナイズ側・エントラント側の隔てなくご理解をいただいてご協力をお願いします。